

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272501453		
法人名	有限会社新堂企画		
事業所名	グループホームひまわり苑上北		
所在地 (電話番号)	〒039-2402 青森県上北郡東北町大浦字菅林116番地1 (電話) 0176-56-3778		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年1月22日	評価確定日	平成21年4月21日

【情報提供票より】(平成20年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	11人, 非常勤 5人, 常勤換算 12.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	19,500 円	その他の経費(月額)	7,050 ~ 冬期13,050 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 0 円
または1日当たり 950 円			

(4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	70 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	工藤医院、かみきたデンタルクリニック
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホーム内は大変日当たりがよく、利用者は温かそうにゆったりと過ごされている。敷地内に小規模多機能型居宅介護事業所と居宅介護支援事業所を併設し、共にゲートボール大会を開催するなど、地域交流の場を作っている。職員は理念を念頭に置き、利用者のその人らしい生活を大切に、一日一日を支援している。最近、管理者が変更になっているが、新管理者は外部研修、内部研修に加えて、OJTを実施しており、人材育成の強化が随所に感じられた。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で課題となった「鍵をかけないケアの実践」については、安全面等を検討しながら取り組まれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価結果については全体で取り組まれているが、自己評価については全職員に浸透するまでには至っていない。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>おおむね二ヶ月に一度、実施している。会議では運営状況や行事を報告し、意見交換している。参加者が参加しやすいよう色々なイベントと共に開催するなど工夫している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>意見や要望を寄せてもらえるよう声がけしたり、意見箱を設置したりしている。寄せられた意見は真摯に受け止め、ミーティングで話し合うなど、意見を反映できるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ゲートボール大会を開催するなど地域貢献と地域交流の場を積極的に作っている。また、お祭りや小学校のイベントに参加し地域との関わりを大切にしている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての役割と利用者がその人らしい生活を支援することを考えた事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示し、朝礼で唱和すると共に、職員一人ひとりがネームプレートに理念を携帯して、常に確認している。管理者と職員は話し合いを通して理解を深め、理念の実現を目指し取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	ホーム主催のゲートボール大会などの行事を開催することでホームを地域へ開放したり、お祭りや小学校のイベントに参加したりして地域との関わりを大切にしている。行事には老人クラブや町内会、多くの地域の方々が参加されるなど、良好な関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価後、職員との話し合いが持たれ、改善に向け全体で検討しながら取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	おおむね二ヶ月に一度、実施している。会議では運営状況や行事を報告し、意見交換している。参加者が参加しやすいような色々なイベントと共に開催するなど工夫している。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政にいろいろと相談したり、情報収集したりしている。行政からの対応も丁寧で良い関係ができています。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部研修に参加するなど、積極的に学ばれている。現在は制度を利用している方はいないが、いつでも対応できるようにしている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内での勉強会を開催している。また、日々のケアの中で職員間で確認しあい、虐待防止に努めている。その他、職員間で食事会を行うなどストレスの軽減を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>理念、方針等を十分説明し、また、事業所のケアに対する考え方、対応可能な範囲や退去の条件についても説明した上で契約している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>二ヶ月に一度、広報「ひまわり新聞」を作成、配布し、日常の様子をお知らせしている。健康状態については面会時に報告している他、必要に応じて電話連絡を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見や要望を寄せてもらえるよう声がけしたり、意見箱を設置したりしている。寄せられた意見は真摯に受け止め、ミーティングで話し合うなど、意見を反映できるよう取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>2ユニットがあり、職員全員が利用者を知るための異動や退職等による職員の入れ替えもあるが、利用者への影響を最小限に抑えるよう引継ぎの期間を設けるなど配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・内部研修に取り組み、技術向上、質の向上に努めている。研修報告書を作成し、他職員と共有している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回の包括会議や外部研修等の機会を利用し、交流に努めている。また、町主催の企業イベントにも参加し、他事業所との交流が図られている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前の訪問でコミュニケーションを図り、見学してもらい、徐々に慣れてもらえるようにしている。また、居室には使い慣れた家具など自由に持参できるようにし、本人及び家族からの意見を聞きながら馴染みの環境を確保できるよう取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑仕事のやり方や漬物の作り方などを職員は教えてもらいながら一緒に行い、互いに支え合う生活ができている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族から情報収集すると共に日々の会話に常に耳を傾け、希望や意向の把握に努め、希望に応えるよう取り組んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>随時利用者及び家族より意見を頂きながら、介護計画の遂行に努めている。また、月一度のカンファレンスにおいて話し合いが行われている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>本人の状態に応じ、臨機応変に見直しがされている。また、各種関係者との話し合いが行われた上で介護計画が作成されている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、各種相談及び、外部機関につなげる役目も担っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族等が希望するかかりつけ医への受診は可能である。昼夜通して、医療機関との連携がとられており、利用者の希望にそのような対応に努めている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人やご家族の希望により、終末期の希望にそえるようスタッフと話し合いながら、医療機関との連携に努めている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録の管理等、プライバシーに配慮し、また、言葉遣いなども個人を傷つけないように配慮している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の生活スタイルやペースを大切に、希望に添えるように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>大根をおろしてもらうなど、一人ひとりが出来ることを探しながら、可能な限り利用者と一緒に準備や片付けができるように配慮している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>併設の小規模施設等も利用しながら、利用者の希望に応じて、いつでも入浴できるように支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>これまでの生活歴を本人や家族から聞き、畑仕事や習字、物づくりなどの役割や趣味を活かした生活ができるよう支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>バスでピクニックに行くなど、季節や本人の希望に応じて外出の機会が多くもてるように柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組んでいる。研修等を実施している他、職員同士で注意喚起しあっている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者の安全面を守る観点から必要に応じて施錠しているが、それ以外は開放している。利用者が気軽に外に出られるよう配慮しながら、取り組んでいる。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、避難訓練を実施している。近隣住民の協力が得られるよう取り組まれている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士が栄養バランスを考えながら献立を作成している。水分もきちんと確保できるよう摂取記録をつけ、確認している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルがあり、手洗い、うがい等を行い予防の徹底を図っている。また、食中毒チェック等を掲示し、注意を促している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内に日が差し込み、全体的に明るく、温かみのある空間である。また、廊下などは広く、ゆとりある環境となっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみのものを持ち込んでもらい、希望に応じた居心地の良い空間づくりに努めている。</p>		

 は、重点項目。